

ベルマーク新聞 3月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

無理なく、楽しく続けてきた8年

徳島・北島町立北島南小が50万点達成



①手作り回収箱のアピールポイントは、ふたが付いていること ②「いつもありがとうございます」と高木智教頭が登場 ③左から、黒島美恵さん、北池愛さん、大月倫子さん。学校にうかがったこの日は3人で活動
④校内に貼り出しているベルマーク集計表 ⑤「いかに短い時間でたくさん整理するかも大事」 ⑥ベルマーク収集缶は各クラスに常設している

徳島県北島町にある町立北島南小学校(前田昌彦校長、児童 451 人)のこれまで集めたベルマークが昨年 10 月、累計 50 万点を超えました。

活動をしているのは、ベルマークボランティアの 4 人。代表を務めるのは、北池愛さんです。お子さんが在校生だった 2014 年に、「ベルマーク、やりましょうよ」と当時の校長に直談判してボランティアを発足。小学校卒業後も、代表として活動を続けてきました。「せっかくいろいろな商品にベルマークが付いているのに、集めないのはもったいない」と考えたことが活動を始めた理由でした。

現在のメンバーは北池さん、岡田由美子さん、大月倫子さん、黒島美恵さん。

お子さんの年齢は異なりますが、メンバーの接点となったのはボランティアへの強い関心です。中でも黒島さんは、独身の頃からマークを集めていて、いつかベルマーク活動に携わりたいたとずっと思っていたそうです。その熱意を他のボランティアで知り合った北池さんにアピールし、メンバーに加わりました。

毎月第 4 金曜日の午前が、学校に集まって仕分け・集計をする時間です。ベルマーク収集は、各クラスに缶を置いているほか、お店や公共施設にも回収箱を設置しています。北池さんによると「回収率は年々上がっていて、枚数が増えている実感がある」そうです。

活動を始めた当初は「手探り状態だっ

た」と北池さん。まずは広く知ってもらうことが必要だと考え、頻繁にお便りを配ったり、町報に載せてもらったり、学校の朝礼で子どもたち向けの発表をしたこともあり。特に、子どもたちへの周知の効果は絶大で、家に帰って子どもが話した内容が保護者にも伝わり、多くの反応があったそうです。最近、教頭の高木智先生が保護者にメールで回収を知らせてくれることも、回収率が高まっている理由のひとつです。

短い時間で、効率よく点数を貯めるために、仕分け・集計もさまざまな方法を試しました。マークの整理方法に決まりはないことを知り、自分たちに合っているのは、数えたらバラバラのまま整理袋

に入れるやり方だと発見。やりやすい方法を見つけたことで、大幅に時間を短縮できたといいます。

熱心な活動ぶりを見て、特に感激しているのは高木教頭です。「ご自身のお子さんが卒業しても、学校のために活動してくださるのは本当にありがたいです。教員の負担の軽減にもつながっている」ととても感謝しています。

着実に点数を積み重ねてきた皆さんですが、「『ボランティアをしている』と苦勞している感覚はないんです」と北池さん。「これからも細く長く無理なく、楽しく続けていきたい」と皆さん口を揃えて話してくれました。

新しい体操マットでさっそく練習

北海道・標津町立川北小から感謝メッセージ

今年度、ベルマーク財団が支援したへき地学校のひとつ、北海道の標津町立川北小学校(丹野聡校長、児童 93 人)から感謝メッセージが届きました。

今回の支援では、体操マットや乾湿両用掃除機、ハンズフリー拡声器、ミニソフトバレーボールなどを贈りました。いずれも、以前から使ってきたものは古かったり、音が出なかったりと不具合が起きていたことから、新しいものが欲しかったそうです。南條恵二先生は「さっそく活用させていただいています。ありがとうございます」と話してくれました。

酪農と漁業が盛んで、自然あふれる北海道標津町。川北小では、酪農を体験学習に採り入れています。牛の模

型を使った搾乳をしたり、酪農用具を身に付けたり、牛乳からアイスを作ったりと充実した内容です。

漁業ではサケの産地として有名。1年に1度、「ふるさと給食」の日にはサケやイクラを使った食事が並び、子どもたちに人気だそうです。

小出秀朋教頭によると、学校周辺はクマの出没が多いため、「クマを正しくおそれる」をテーマにクマの生態や遭遇したときの対処法を学ぶ授業もあるとのこと。



2023年度も運動説明会は中止

5月上旬に「バーチャル説明会」掲載

ベルマーク財団は、例年 5 月と 6 月に全国で開催していたベルマーク運動説明会を中止することにしました。新型コロナウイルス感染が収束したとはいえ、参加団体の皆様に安心してご参加いただくことが難しいと判断したためです。皆様には、何卒ご理解いただきたく存じます。

説明会でお伝えする予定だった内容は「バーチャル説明会 2023」として財団ホームページに掲載いたします。協賛会社からのお知らせコーナーも設け、5月の連休明けにアップする予定です。ぜひご活用ください。